

研究・調査報告書

| | |
|---|----------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 6 | 札幌医科大学医学部薬理学講座 |
| 題名（原題／訳） | |
| Alcohol consumption is associated with enrichment of high-density lipoprotein particles in polyunsaturated lipids and increased cholesterol esterification rate. アルコール摂取は多価不飽和脂肪酸の HDL レベルの増加とコレステロールのエステル化速度の増加を伴っている | |
| 執筆者 | |
| Perret B, Ruidavets JB, Vieu C, Jaspard B, Cambou JP, Terce F, Collet X. | |
| 掲載誌（番号又は発行年月日） | |
| Alcohol Clin Exp Res 26(8):1134-1140 (2002) | |
| キーワード | |
| アルコール摂取、ワイン、HDL レベル、コレステロールレベル | |
| 要 旨 | |
| 背景： アルコール摂取は HDL レベルの増加と関連している。さらに、飲酒者では赤血球リン脂質の脂肪酸パターンでの変化が見られる。この研究の目的は、通常のワイン飲酒者で、HDL 顆粒の脂質分子種の組成とこれらの HDL の機能的性質について検討することである。 | |
| 方法： 46人の被験者が南フランス、トゥルーズでの住民調査の際に集められ、1日のアルコール消費量を含めた栄養調査が行われた。被験者はその1日アルコール(多くは赤ワイン)摂取量から0、1日35 g以下、1日35 g以上に分けられた。血漿 HDL 分画を分離し、中性脂肪分子種とリン脂質脂肪酸がガス・液体クロマトグラフィで分析された。細胞コレステロールの遊離、コレステロールのエステル化、リポ蛋白質間のコレステロールエステルの転移は細胞一血漿インキュベーション系で測定した。 | |
| 結果： 1日47 gのワイン飲酒は HDL コレステロールとアポリポ蛋白 A-I の増加を伴っていたがトリグリセリドは増加していなかった。分離した HDL は、全てのコレステロール分子種での27%の増加が示された。コレステロール顆粒は多価不飽和脂肪酸、特にアラキドン酸(+30%)とエイコサペンタ酸(+90%)を含んだものが豊富であった。血漿コレステロールエステル化速度は飲酒しない者と比較して飲酒者で 27%高かったが、細胞コレステロール遊離の速度は変わらなかつた。 | |
| 結論： 通常のワイン消費は HDL の多価不飽和脂肪酸レベルの増加とコレステロールエステル化速度の増加を伴っている。 | |